

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ナチュラルこどもハウス 生野区店		公表日		年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			・遊びのスペースと活動のスペースを完全に分けている為、切り替えをしやすいように工夫しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			・児童の人数に対して配置数は適切だが、現場経験のない人や社間もない方は少なく思う時はあり、その為それぞれ連携し事前の引継ぎやコミュニケーションも心掛けています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		・玄関や室内の段差にはスロープを使用しています。足元の不安定な児童に対して見守りや個別に誘導するな特性に合わせて安全面にも配慮をしています。 ・それぞれの活動にあわせて工夫しながら児童に合わせて環境を整え、日頃より職員間で見直しもしています。 ・特性に応じ、視覚化し（スケジュールや絵カード等）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			毎日の清掃・消毒(児童が触れる物は全て) 定期的な喚起をい、活動の区切り(午前・午後)で手が触れている部分は念入りに(ドアノブ・トイレ等) 消毒をしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			空間が複数に分かれているため臨機応変に部屋を利用しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			今後日頃から担当者による業務改善だけでなくすべての職員が目標設定と日々の振り返りを行っていけるよう心がけていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			ご協力いただいたアンケート調査の結果を全職員で確認し、業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			毎朝のミーティングで気が付いたこと等を話し合っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			外部評価実施していません。導入について、今後検討課題とします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			内部・外部研修に参加する機会を感染状況をみながら実施し、内容を全体に報告することで情報を共有しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			HPで公開しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			保護者様との面談の機会や送迎時に事業所での様子や家庭・園での様子など情報共有し、児童と保護者のニーズを把握し支援計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			定期的に個別支援会議を行い、職員間の意見交換や支援内容の確認に努め、保護者様からの聞き取りを実施して同意のうえで見直しをしています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			支援計画に沿った支援を心掛けています。職員間の情報共有を意識しよりよい支援に努めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			計画書作成の際に、社内で統一されたアセスメントとツールを使用すると共に、職員間での意見交換をすることで、確認を行っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			それぞれの子ども状況・状態に合わせた支援内容を選択し、具体的にわかりやすい内容を心がけて設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			活動プログラムは責任者で決定しているが全体で周知し、児童に合わせてサポートの方法など日ごとに振り分けています。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			月間で項目設定し、内容もバランスよく振り返りながら出来るようにしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			個々の成長に応じ、個別・集団活動としての課題を組み合わせ作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			活動内容・当日の動き・役割分担は職員間でその日の朝に確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			気付いたことや改善点は支援記録として記入し振り返れるようにしていますが、今後も翌朝等で担当者主体で振り返りを行い、共有するように心がけます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			活動内容や支援について振り返り記録に残しています。今後も記録の内容の検証・改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			モニタリング期間内に支援内容について評価・見直しを適宜行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			主に児童発達支援管理者が責任者・担当者が出席しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			電話やラインを通じて相談支援事業所を中心に関係機関とは連携している児童もいます。主治医との連絡体制は保護者を通して確認しています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			就学に向けた支援内容の共有は保護者様からの要望が必要で書面にて作成し提供しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		電話やラインを通じて相談支援事業所を中心に関係機関とは連携している児童もいます。主治医との連絡体制は保護者を通して確認しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		現状では、機会等をもつことができていません。今後、体制を整えていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		現状では、交流する機会等をもちことができていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			送迎時に、日々の状況について説明しています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		送迎時に、必要な児童への声掛けや関わりについてお話をさせていただくこともあります。 ・スキルアップを重りご家族様への支援をプログラム化できるよう努めます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			見学時・契約時に口頭と書面で丁寧に説明を行うよう心がけています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			アセスメントシートを活用し、意思を確認した上で、支援計画を作成しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			支援計画は保護者様に確認していただいて同意を得ています。(定期的にモニタリングを実施し支援内容の説明をしています)

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			相談は随時対応しています。必要な際は職員間で検討してから助言や支援を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		先日親子交流会を開催しました。今後も保護者様同士の連携や意見交換ができる機会を作っていきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			相談・申入れがあった際は内容に応じて早く回答及び検討を行い、意向に沿えるよう心がけています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			毎月、活動の様子としてお写真を添えて個別に発行し行事予定などもお便りを通して発信しています。SNSの発信も増やしていけるようにします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			個々に厳重に管理しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			児童の特性を考えながら、視覚的な情報を用意するなどその都度に応じて配慮しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		感染状況を見ながら、今後地域の方にも参加していただけるような取り組みを検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			年度毎に更新し、マニュアルの策定はしているが全てのマニュアルを保護者へ配布し周知としては不足している為、今後対応していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			児童含め月1回避難訓練を実施しています。 (地震・火災・不審者・水害)
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			契約の際に確認しています。また服薬が必要になった際にはお薬札を提出して頂き必要に応じて聞き取りを行い確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			アレルギーがある場合は保護者から詳細を確認しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			定期的に、研修や訓練を実施しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			契約書に記載の上、契約時に説明を行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			ヒヤリハット・事故があった際は共有と再発防止策を早急に検討し報告書をあげてファイリングしています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			虐待防止研修とその他社内研修で事例検討会等職員が参加し共通認識できるよう努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			内容研修の再確認を行うとともにとやむを得ず行う場合は手続きに沿って進めていきます。	